



## 上智大学イベロアメリカ研究所

### 2006年度活動報告

(2006年4月～2007年3月)

No. 14 (2007年5月)

#### § 研究会

##### ◆ 研究所共同研究

「グローバル化時代のラテンアメリカ地域研究と教育」

研究代表者：今井圭子（～2006年8月）、堀坂浩太郎（2006年9月～）

共同研究者：Nina HASEGAWA、堀坂浩太郎、今井圭子、岸川毅、Mauro NEVES、田村梨花  
研究会：

- 第2回 5月31日：1. 研究代表の交替、選出  
2. 研究計画  
3. 2006年度現地調査計画  
4. 2005年度現地調査報告：堀坂浩太郎、Mauro NEVES

第3回 12月20日：田村梨花「ブラジル ベレンにおける現地調査報告」

海外出張：田村梨花（ブラジル、2006年8月23日～9月13日）

今井圭子（アメリカ、コスタリカ、2006年9月26日～2007年3月31日）

岸川 毅（台湾、2006年3月10日～3月21日）

##### ◆ ランチタイム・フリートーク

第1回 10月5日：箕輪茂「2006年メキシコ総選挙・現地報告」

第2回 11月27日：堀坂浩太郎「南米の地域統合—大統領選の結果をふまえて—」

第3回 12月20日：田村梨花「ブラジル ベレンにおける現地調査報告」

(研究所共同研究研究会を兼ねて)

第4回 1月31日：藤井嘉祥「グアテマラのアパレル産業—生産現場の調査報告—」

#### § 講座（ソフィア・コミュニティ・カレッジにて開講）

##### ◆ 「21世紀世界の共存・人間の安全保障をめざして—アジア・中南米の現場から—」

2006年4月19日～6月7日（全7回）

コーディネーター：今井圭子

受講生：12名

- |                         |               |      |
|-------------------------|---------------|------|
| ① 序—本講座の狙いと構成           | 今井圭子          | (本学) |
| ② 軍事による安全保障から人間の安全保障へ   | David WESSELS | (本学) |
| ③ インド—「ケララ・モデル」と人間の安全保障 | 濱田壽一          | (本学) |
| ④ フィリピン—貧困削減・平和構築への挑戦   | 保岡孝顕          | (本学) |
| ⑤ ブラジル—多人種・多民族共存社会をめざして | 三田千代子         | (本学) |
| ⑥ コスタリカ—非武装平和・人間開発・環境立国 | 今井圭子          | (本学) |
| ⑦ まとめ—21世紀共存社会の構築に向けて   | 今井圭子          | (本学) |

◆第29回ラテンアメリカ事情講座

「ラテンアメリカ 05-06 年選挙をどう見る：左傾化、それとも現実路線？」

2006年10月16日～12月4日（全8回）

コーディネーター：堀坂浩太郎

受講生：16名

- |         |       |                     |
|---------|-------|---------------------|
| ① ペルー   | 村上勇介  | (京都大学)              |
| ② チリ    | 浦部浩之  | (獨協大学)              |
| ③ メキシコ  | 岸川毅   | (本学)                |
| ④ ブラジル  | 堀坂浩太郎 | (本学)                |
| ⑤ 中米諸国  | 尾尻希和  | (東京女子大学)            |
| ⑥ コロンビア | 幡谷則子  | (本学)                |
| ⑦ ボリビア  | 藤田護   | (前在ボリビア日本国大使館専門調査員) |
| ⑧ ベネズエラ | 坂口安紀  | (アジア経済研究所)          |

§ 講演会

◆7月20日 “The Presidential Election of Mexico” (メキシコの大統領選挙)

Arturo SANTA-CRUZ (グアダハラ大学教授)

<共催：グローバル・スタディーズ研究科・地域研究専攻>

◆10月5日 “Pensamientos sobre la música popular argentina”

(アルゼンチン・ポピュラー音楽をめぐる思想について)

Liliana HERRERO (歌手、ロサリオ大学教授)

<後援：リリアナ・プロジェクト>

◆12月1日 “Cosmovisión andino-amazónica” (アンデス・アマゾンの宇宙観とアート)

Roberto MAMANI MAMANI (ボリビア人画家)、加藤薫 (神奈川大学教授)

§ アルゼンチン映画祭

<後援：アルゼンチン大使館>

- ◆10月6日 Valentín (2002)
- ◆10月13日 Herencia (2002)
- ◆10月20日 Bar “El Chino” (2003)
- ◆10月27日 El abrazo partido (2004)

§ 出版物

- ◆『2005年度活動報告』No. 13
- ◆ *Boletín Informativo*, No. LI
- ◆『ラテンアメリカ文献目録2004年』
- ◆調子千紗『ポルトガル語になった「デカセギ(Decasségui)」—ブラジル国内メディア分析によるブラジル社会のデカセギ観変遷の考察—』(ラテンアメリカ研究 ILA No.30)
  - 序論
  - 第1章 ブラジルにおけるデカセギ観の変遷
  - 第2章 『サンパウロ新聞』にみる「出稼ぎ」
  - 第3章 *Folha de S. Paulo* にみる「デカセギ(decasségui)」

参考文献  
資料  
要約（ポルトガル語）

◆ 『イベロアメリカ研究』  
第 XXVIII 卷第 1 号（2006 年度前期）

シンポジウム

「連携するラテンアメリカ諸国—経済統合と安全保障—」

堀坂浩太郎「緒言」

フランシスコ・ロハス・アラベーナ「ラテンアメリカにおける統合の構築と推進—安全保障分野における信頼醸成の形成—」

エルナニ・テイシェイラ・トレス・フィーリョ「南米の地域統合—ブラジルの視点から—」

論文

Isami ROMERO HOSHINO, “Vicente Fox y el futuro de la diplomacia mexicana”

研究ノート

水谷裕佳「移住はヤキ文化に変容をもたらしたのか—自然環境との関連からの考察—」

書評論文

渡辺暁「アメリカ合衆国のメキシコ系移民社会」

書評

Mauro NEVES, “Berg, Charles Ramírez, *Latino Images in Film: Stereotypes, Subversion, & Resistance* (Austin: University of Texas Press, 2002), 314p.”

資料

ラテンアメリカ日誌—2005 年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

第 XXVIII 卷第 2 号（2006 年度後期）

論文

Roberto KAWANO, “El paraíso artificial: El trazado ortogonal en las ciudades coloniales hispanoamericanas”

Carlos ARCOS CABRERA, “Jorge Icaza: a cien años de su nacimiento”

マルコス・パブロ・モロエスニック「メキシコにおける政権交代と遵法文化、刑事司法、人権」（訳 箕輪茂）

国本伊代「1979 年のローマ法王メキシコ訪問—実現にいたる過程でみられたメキシコ側の反応を検証する—」

山口英彦「ラテンアメリカにおける国家と外国石油会社—その対立的関係の起源—」

書評

尾尻希和「Cruz, Consuelo, *Political Culture and Institutional Development in Costa Rica and Nicaragua: World Making in the Tropics* (Cambridge: Cambridge University Press, 2005), 281p.」

藤井嘉祥「Juárez Núñez, Humberto, *Allá... donde viven los más pobres: cadenas globales-regiones productoras, la industria maquiladora del vestido* (México: Benemérita Universidad Autónoma de Puebla, Universidad de Guadalajara, Universidad Obrera de México, Universidad Michoacana de San Nicolás de Hidalgo, 2004), 278p +Anexo.」

資料

日本・ラテンアメリカ関係日誌—2005 年—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

## § ラテンアメリカ地域研究履修証明取得者

本研究所は特別に指定した科目の中から 34 単位以上を取得した本学の学生に「ラテンアメリカ地域研究履修証明」を発行している。

2006 年度取得者：

イスパニア語学科：4 名（古谷麻澄、伊藤明日香、野田麻里子、大森苑美）

ポルトガル語学科：5 名（江川智子、菊地恵子、舛方周一郎、滝谷茜、田村綾子）

## § 来訪者

- 4 月 17 日 Daniel Adan DZIEWEZO POLSKI（アルゼンチン）アルゼンチン共和国特命全権大使。  
6 月 13 日 Marcelo MAGNOU PÉREZ（ウルグアイ）ウルグアイ東方共和国臨時代理大使。  
7 月 7 日 Alexandra GARCÍA I.（コロンビア）ノルテ大学助教授。  
7 月 20 日 Arturo SANTA-CRUZ（メキシコ）グアダラハラ大学教授。  
7 月 21 日 Melba FALCK REYES, Roberto HERNÁNDEZ HERNÁNDEZ, Enrique VALENCIA LOMELÍ（メキシコ）グアダラハラ大学教授。  
10 月 11 日 Carmen MOLINA TAMACAS（エルサルバドル）「エル・ムンド」紙記者。  
10 月 12 日 Manuel MEJIDO（チリ）アカデミア・デ・ウマニスモ・クリスティアノ大学教授。  
10 月 17 日 Enrique PERUZZOTTI（アルゼンチン）トルクアト・ディ・テーラ大学教授。  
10 月 24 日 外務省中南米諸国日系人若手議員招聘プログラム：Alicia TERADA（アルゼンチン）チャコ州議員、Alejandro Makoto TAKAHASHI ÁLVAREZ（パラグアイ）パラグアイ国石油公社総裁、Rafael Gustavo YAMASHIRO ORE（ペルー）議会議員、NAGATANI Michiaki（ボリビア）ボリビア共和国下院議員（外交委員長）。  
1 月 22 日 桑山幹夫 国連ラテンアメリカ経済委員会エコノミスト。  
2 月 23 日 外務省ブラジル日系人議員・司法関係者招聘プログラム：Aurelio NOMURA サンパウロ市議会議員、Mauricio YAMAKAWA パラナバイ市長、Massami UYEDA 司法最高裁判所判事。  
3 月 5 日 Carlos SALOMÓN（メキシコ）大統領顧問。  
3 月 22 日 Juan Manuel URTUBEY（アルゼンチン）アルゼンチン共和国議会下院議員。

## § 図書室

蔵書数：36,226 冊（和書 3,711 冊、洋書 32,515 冊）

所蔵雑誌：819 点、うち洋雑誌 742 点

購入図書：293 冊（和書 47 冊、洋書 246 冊）

受贈図書：57 冊（和書 17 冊、洋書 40 冊）

除籍図書：0 冊（和書 0 冊、洋書 0 冊）

貸出図書：1,124 冊

利用者数：1,381 人、うち学外者 248 人

利用者カード発行数：71 件

## § 共同研究員

藤井嘉祥、増山久美、武田和久、山崎洋之

## § 人事

- ◆2006 年 4 月 1 日付で大越翼教授（外国語学部イスパニア語学科）が正所員に任命された。専門はマヤ古代史・植民地時代史。
- ◆2006 年 9 月 1 日付で堀坂浩太郎所員が所長に就任した。
- ◆2007 年 3 月 31 日付で João Manoel LIMA MIRA 所員は本学を退職した。

## § その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC 順）

HASEGAWA, Nina

8月13日 ～31日	出張	メキシコ。メキシコ国立図書館ホセ・ファン・タブラーダ日本版画書籍コレクション所蔵の浮世絵の分類、整理。
3月10日	論文	“El Panorama de las señoritas (Imp. Vicente García Torres, México, 1842): Algunas consideraciones en torno al contenido de este semanario” (『上智大学外国語学部紀要』第41号) 153-189 ページ。
3月20日	資料作成	平成 17-18 年度文部科学省『魅力ある大学院教育』イニシアティブに採択された取組『現代世界に貢献する地域研究』の成果の一環として、Plano de la Ciudad de México de 1867 levantado por el Ministerio de Fomento を加工、編集し、電子地図を作成。

幡谷 則子

7月30日 ～8月17日	現地調査	「コロンビアにおける社会運動と民衆の政治参加」に関する現地調査。(アジア経済研究所、基礎研究『開発途上国における社会運動と民衆の政治参加』研究会外部委員として参加)。
11月20日	論文	「コロンビア—第 2 期ウリベ政権の課題—」(『ラテンアメリカ・レポート』Vol.23, No.2) 10-18 ページ。
1月15日	ワークショップ 司会	上智大学 21 世紀 COE プログラム、AGLOS セミナー「紛争・和平・開発」。
1月27日	討論者	国際シンポジウム「ポスト・ワシントンコンセンサス期のラテンアメリカ—アンデス諸国の政治社会変動と天然資源管理—」第 2 部 / 第 3 セッション: 国際関係の新動向 María Consuelo Ahumada Beltrán, “La región andina en el siglo XXI: entre el hegemonismo de Estados Unidos y los ‘Vientos del Sur’”に対するコメント(京都大学地域研究統合情報センター)。
3月16日	共著	「ラテンアメリカの民衆社会運動—抵抗・要求行動から市民運動へ—」(重富真一編『開発と社会運動—先行研究の検討—』アジア経済研究所) 123-159 ページ。

堀坂 浩太郎

4月4日 ～9日	出張	「日伯 21 世紀協議会提言: 新たな日伯関係をめざして」作成のためのブラジル側との協議。
4月25日	記事	「ルラ・ブラジル大統領再選機運の背景」(『世界週報』第 87 巻第 16 号) 52-53 ページ。
7月23日	報告書	日伯 21 世紀協議会メンバーの一員として小泉首相およびブラジル・ルラ大統領への「日伯 21 世紀協議会提言: 新たな日伯関係をめざして」提出。
7月25日	記事	「ベネズエラ・チャベス政権、中南米地域外交に乱気流」(『世界週報』第 87 巻第 28 号) 52-53 ページ。
8月21日 ～9月8日	出張	ブラジルおよびアルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイの国境地域にて「地域統合深化における多国間インフラ整備の有意性」(科学研究費)に関する調査。
9月22日	講演	「ラテンアメリカ: 少ない地政学的リスク」米州開発銀行・国際協力銀行共催「アジア・ラテンアメリカ及びカリブ海地域民間部門フォーラム」(於: 日本経団連会館)。
10月15日	学会発表	“The Case of the Lula Government in Brazil.” in the Session “New ‘Leftist’ Politics in Latin America: Does It Make Difference?” 日本国際政治学会(於: かずさアカデミアホール)。
10月24日	記事	「パナマ運河拡張に向け国民投票実施へ」(『世界週報』第 87 巻第 44 号) 52-53 ページ。
1月23日	記事	「中南米、『政治の季節』を終え真価問われる実行能力」(『世界週報』第 88 巻第

1月31日	記事	3号)54-55 ページ。
3月1日	記事	「中南米政治、2007年の課題」(『季刊海外日系人』第60号)74-75 ページ。
3月14日	パネル・ディスカッション	「ハイパーインフレから卒業したブラジル—独自の発展モデルへ視野開く」(『外交フォーラム』第20巻第3号)42-45 ページ。
3月	講演報告	国連大学・米州開発銀行セミナー「ラテンアメリカ・カリブ海諸国の社会経済の挑戦—開発課題の定義」(於:国連大学)。 「ブラジルは農業国?—その多様な側面と通商交渉の原動力」(農林水産政策研究所編『南米における農業政策の変遷—ブラジルの事例ほか』行政対応特別研究[交渉戦略]研究資料第3号)43-65 ページ。

### 今井 圭子

4月25日	論文	「平和・共生社会の構築をめざして—『人間の安全保障』とコスタリカ発展モデル」(『ラテン・アメリカ時報』2006年4月号)13-20 ページ。
9月26日 ~3月31日	海外研究	アメリカ合衆国(テキサス大学)、コスタリカ(コスタリカ大学)等にて海外研究(特別研修)。

### 岸川 毅

6月3日	学会報告	「メキシコ:2006年選挙で左派は何を提示するのか」シンポジウム「ラテンアメリカ現代政治を読む」日本ラテンアメリカ学会第27回定期大会(於:アジア経済研究所)。
10月1日	論文	「メキシコ:2006年選挙と政党政治の変容」(『アジア研ワールド・トレンド』第133号)12-15 ページ。
2月8日	講演	「メキシコ政治の読み方」異文化理解講座「現代中米・カリブの読み方」国際交流基金。
3月10日 ~21日	国外調査	台湾のラテンアメリカ研究・教育に関する国外調査(研究所共同研究「グローバル化時代のラテンアメリカ地域研究と教育」)。台湾の淡江大学、国立政治大学、国家図書館において聞き取り調査および文献調査を実施。

### 箕輪 茂

6月12日	研究会発表	「メキシコにおける民主化と治安」上智大学 COE-AGLOS ワークショップ、研究プロジェクトI-3。
8月10日 ~9月27日	出張	メキシコ。『「民主主義の質」分析のための枠組み構築—メキシコの治安問題を題材に—[科学研究費補助金(若手研究(B))による]』に関する調査。
10月1日	論文	「『二極化』するメキシコ」(『軍縮地球市民』No.6)216-218 ページ。

### 三田 千代子

5月19日	講演	「社会と多元性」国際交流基金 中南米理解講座 『サッカーの国ブラジルをもっと知ろう』。
9月29日	学内共同研究発表	「砂糖と近代社会—世界を変えた砂糖きびプランテーション」ポスター発表。
1月26日	講演	「コーヒー大国ブラジルと日本移民」第8回コーヒーサロン「コーヒー生産地の歴史と今—ブラジル編—」。

3月	編著	“Os Brasileiros “Dekassegui” errantes: Rumo ao Processo de Fixação?,” en Mita, Chiyoko (ed.), <i>Globalização Análise Compereensiva a partir da Perspectiva Local</i>
----	----	---

		<i>e Regional</i> , Sophia AGLOS Working Papers Series, no. 14 (Tokyo: AGLOS Program Office, Sophia University), pp. 120-140.
--	--	---

### NEVES, Mauro

8月6日 ～9月8日	現地調査	ブラジル(ブラジリア、ベレン、フォルタレザ、アラカジュ、サンパウロ)。
10月28日	学会報告	“O Estranho Mundo de José Mojica Marins” 日本ポルトガル・ブラジル学会。

### 清水 憲男

6月13日	講演	“La tentación de Borges”, <i>Veinte años sin/con Jorge Luis Borges</i> , Madrid, Centro de Arte Moderno.
-------	----	--

### 大越 翼

6月22日	共著	“ <i>Kax (monte) y luum (tierra): la transformación de los espacios mayas en el siglo XVI</i> , en Ochiai, Kazuyasu (ed.), <i>El mundo maya: miradas japonesas</i> (Mérida : Universidad Nacional Autónoma de México), pp. 85-104.
9月13日	講演	“Rivalidad e historia: Los papeles de los Xiu”, en Ciclo de conferencias “Códices y otros textos indígenas”, en el Instituto de Investigaciones Filológicas, UNAM, México.
9月15日	共著	「異文化との衝突—マヤの王たちの対応」、「スペイン植民地支配体制の確立—エンコミエンダ制とレパルティエメント制」、「キリスト教の布教と先住民—植民地支配の末端組織に組み入れられる」、「ポポル・ウーフ」(桜井三枝子編『グアテマラを知るための65章』明石書店)72-83、268-271 ページ。
10月23日	共著	「マヤ世界に魅せられて—‘滅びた人々’への眼差し—」(関哲行、石渡明夫、網野公一編『円卓—古稀の堀越孝一を囲む弟子たちの歴史エッセイ集』東洋書林)45-70 ページ。
10月28日	講演	「マヤ文化入門」グアテマラ・マヤ文化協会(於:赤坂区民ホール)。
11月10日	論文	「植民地時代のマヤ人における‘合意’のありかた—空間、地図、テキスト—」(『 <i>The Americas Today</i> (天理大学アメリカス学会ニュースレター)』第55号)1-5 ページ。
12月1日	論文	“Hacia una nueva lectura de los escritos mayas yucatecos de la época colonial” (『京都ラテンアメリカ研究所紀要』第6号)57-71 ページ。
2月17日	講演	「後古典期マヤ北部低地における王権をめぐる」アンデス文明研究会(於:東京外国語大学本郷サテライト)。
3月12、14日	講義	“Los mayas de Yucatán I y II”, en el “Módulo 2: Historia indígena maya” del Diplomado, “Historia indígena de Mesoamérica: códices y otras fuentes indígenas”, en el Instituto de Investigaciones Filológicas, UNAM, México.

### 谷 洋之

8月7日	研究会 講師	「メキシコのトマト栽培事業」アジア経済研究所「ラテンアメリカ新一次産品輸出経済論」研究会(於:赤坂ジェトロ会館)。
------	-----------	---

9月1日	シンポジウム 報告	“The Mexican Tomato Business Under North American Free Trade Agreement (NAFTA): From Cheap Labor to High Value Added,” in <i>Rethinking Locales in Globalization: Shanxi Province in Comparative Perspective</i> , Sophia University COE-AGLOS and Jinzhong University (China) Joint International Symposium, at Jinzhong University.
9月13日 ～23日	現地調査	上智大学個人研究費による出張。メキシコ、ハリスコ州アランダス、トトランおよびサン・ガブリエルにて農業生産状況調査。同州グアダラハラにてヒアリングならびに研究者との意見交換。
11月	論文	“La agricultura mexicana y el mercado japonés: oportunidades y retos para México,” <i>México y la Cuenca del Pacífico</i> , vol. 8, núm. 26, pp.79-91.
3月	共著	“Mexican Tomato Business under NAFTA: From Cheap Labor to High Value Added?,” in Wank, David L., Linda Grove and James Farrer (eds.), <i>Rethinking Locales in Globalization: China’s Shanxi Province in Comparative Perspective: Proceedings of AGLOS International Symposium August 30-September 2, 2006, Jinzhong University, Jinzhong City, Shanxi Province, China</i> , Sophia AGLOS Working Papers Series, no. 15 (Tokyo: AGLOS Program Office, Sophia University), pp. 76-81.

田村 梨花

8月23日 ～9月13日	現地調査	ブラジル(サンパウロ、ベレン)。研究所共同研究「グローバル化時代のラテンアメリカ地域研究と教育」国外研究。
-----------------	------	---

上智大学イベロアメリカ研究所

102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1  
 Tel. 03-3238-3530 Fax. 03-3238-3229  
 E-mail: [ibero@sophia.ac.jp](mailto:ibero@sophia.ac.jp)  
<http://www.info.sophia.ac.jp/ibero>